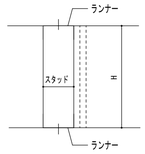
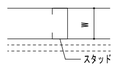
1 壁下地 / 軽量鉄骨間仕切下地 1:20





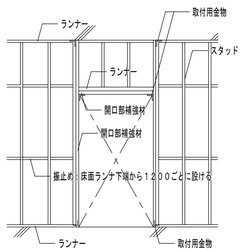
振張り@450内外
直張り@300内外

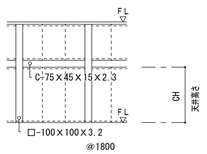
スタッド，ランナーなどの種類（mm）

種類 ＼ 部材等	スタッドの高さによる区分	スタッド	ランナー	振止め	出入口及びこれに準じる開口部の補強材	補強材取付用金物
50形	高さ2.7m以下	50X45X0.8	52X40X0.8	19X10X1.2	――	――
65形	高さ4.0m以下	65X45X0.8	67X40X0.8	25X10X1.2	□-60X30X10X2.3	L-30X30X3
90形	高さ4.0mを超え4.5m以下	90X45X0.8	92X40X0.8		□-75X45X15X2.3	L-50X50X4
100形	高さ4.5mを超え5.0m以下	100X45X0.8	100X40X0.8		2□-75X45X15X2.3	

（注） 1）ダクト類の小規模な開口部の補強材は，それぞれ使用した種類のスタッド又はランナーとする。
2）スタッドの高さに高低がある場合は，高い方を適用する。
3）50形は，ボード片面張りの場合に適用する。

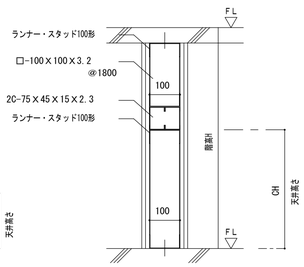
※ 工法は公共建築工事共通仕様書（平成25年版）による





姿図

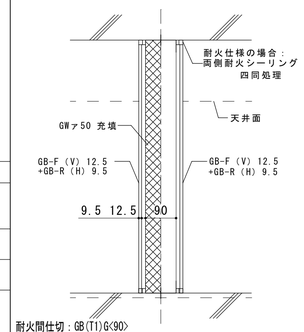
階高H=5,000以上の場合



断面図

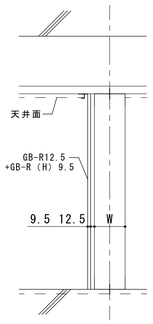
建具：建具表による
番重厚流ユニット（W2,160×H2,900）：2か所

2 軽量鉄骨間仕切壁 / LGW下地両面貼（ボード、LGWは梁下・スラブ下迄） 1:10



耐火間仕切：GB(T1)G<90>
通常：GB6<90>

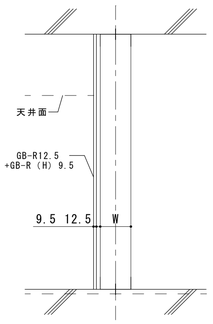
3 軽量鉄骨間仕切壁 / LGW下地片面貼（ボード、LGWは天井迄） 1:10



W40

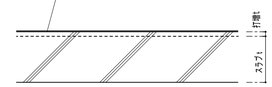
4 軽量鉄骨間仕切壁 / LGW下地片面貼（ボード・LGWは梁下・スラブ下迄） 1:10

W=仕様書による



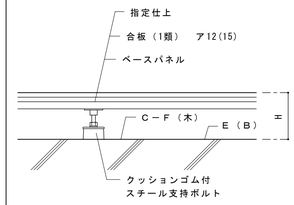
W50

5 床 / 直仕上床 1:10

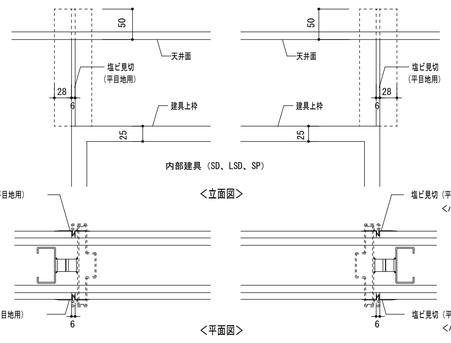


注記）厚さ、仕上の適用は仕上表による

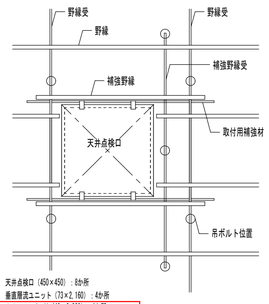
6 床 / 木下地床 1:10



7 軽量鉄骨間仕切壁 / クラック誘発目地（建具枠上塩ビ見切） 1:5

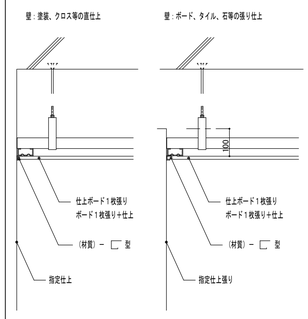


8 天井下地 / 天井開口部LGC下地補強 / 天井点検口 1:20



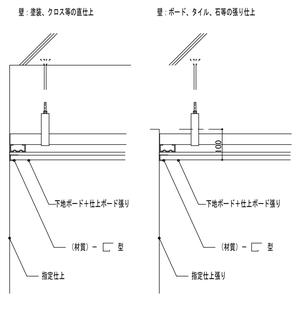
天井点検口（450×450）：6か所
垂直厚流ユニット（73×2,160）：4か所
FFユニット（1,440×2,030）：4か所
エアコン（1,400×600）：4か所
MFD（450×750）：4か所

9 壁－天井 / 天井ボード張り（直張り） 1:10



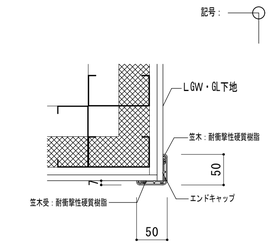
注記）各種別、厚さ、仕上、シーリングの適用は仕上表による
壁仕上ボード、タイル張り、石張り等は天井仕上面＋100までとする

10 壁－天井 / 天井ボード張り（下地張りあり） 1:10



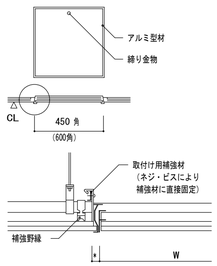
注記）各種別、厚さ、仕上、シーリングの適用は仕上表による
壁仕上ボード、タイル張り、石張り等は天井仕上面＋100までとする

11 廊下（一般廊下・居室） / 塩ビ樹脂製コーナーガード1 1:5



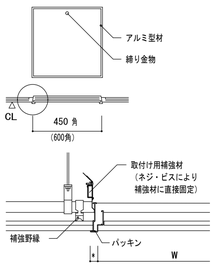
CG-1（一般・木目調）
取付け高さ：FL+100～FL+1600（L=1500）

12 天井点検口（額縁タイプ） 1:20



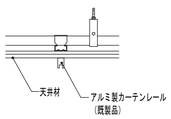
仕様 ◎ 印を適用する。 ＊は別図による。
アルミ枠表面仕上
◎ 陽極酸化皮膜
（アルマイト複合被膜）
○ A-BE 個数： 図示

13 天井点検口（エアタイト型） 1:20

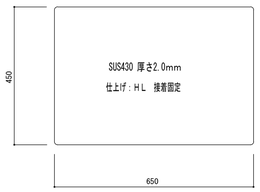


仕様 ◎ 印を適用する。 ＊は別図による。
アルミ枠表面仕上
◎ 陽極酸化皮膜
（アルマイト複合被膜）
○ A-BE 個数： 図示

14 天井 / 天付カーテンレール CR 1:10

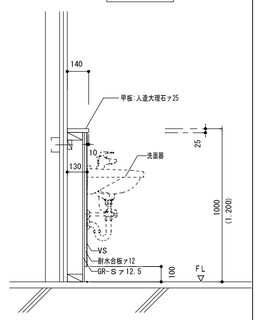


15 感染PL / SUS430（W650×H450） 1:10



16 水廻り / ライニング 1:20

洗面（乾式）



業務名	工事名称	DATE
山梨大学（医病）新西病棟７階無菌室改修実施設計業務	山梨大学（医病）新西病棟７階無菌病室改修工事	
国立大学法人 山梨大学 施設・環境部	図面名称：部分詳細図	SCALE：A1：図示 A3：図示
担 当		No. A － 12

DNAC DIGITAL NETWORK AND COMMUNICATION 株式会社ディナック中日本
Design Room：山梨県甲府市相生1-5-15-2F
TEL:(055)-220-7600
山梨県知事登録 第 1-031984 号
一級建築士 第 217345 号 中込 秀